

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年3月31日

回収数

回収率

事業所名 ウィズトークス

保護者数

33

24

72.7%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	22	1	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	20	0	0	4		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	19	2	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	21	0	1	2	匂いが気になります。部屋の中でもってしまっていて、時に苦しく感じる場合があります。	コロナ対策もあり、空気清浄機の導入と換気を行っているが、不足しているとの指摘であるので扇風機を活用してさらなる換気を行う
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	23	0	0	1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	5	0	3		児童発達支援ガイドラインについてスタッフの理解も不足している可能性があるため、法人内勉強会を通して周知をする
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	24	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	21	2	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	6	10		利用児は全員が保育所等に通っているため特別必要ないと考えている
適切な	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	23	1	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	24	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われている	1	1	7	12		ペアレントトレーニングについては、法人内での人材育成が不十分なので外部資源を用いて実施する
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	0	0	2		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	5	0	0	利用時に担当に当本人の話(親からの目線)担当にからも共感の声いただいたり、また教官からの別答えもいろいろのやり取りできてます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
支 援 の 提 供	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	3	8	10		コロナ禍以降は実施できていない。オンラインの活用を含めて検討する
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	19	3	0	2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	23	0	1	0	カード嫌いな子に対し担当者は、毎回工夫して素晴らしいです。 またマスク無しでのカード発音に対し子供が担当の口元見て発音してくれるのが嬉しいです。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	21	0	0	3	コロナ対応の利用についての注意や、陽性者が出た時の情報など迅速にLINEで知らせていただけるので安心して利用できています。	毎週、SNSとホームページで発信を行っているので、それに対する周知を図る
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	24	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	20	2	1	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0	3	1	17		現在の個別指導中心の運営形態では、多くの利用児が参加しての実施が困難である。定期的に実施し、それを参加していない利用児の保護者に情報提供することを検討する
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17	5	1	1		
	23	事業所の支援に満足している	22	2	0	0		